

目標達成計画

作成日：2019年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・身体拘束はないものの、身体拘束について、職員の十二分な知識や理解が不足している。	身体拘束について、職員の知識と理解を深め、一人一人が考える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 改めて「身体拘束廃止委員会」という名称での活動を行う。 定期的に、運営推進会議、全体会議を活用する。 事例の都度、拘束に当たらないかの検討を行う。 現状に則した研修を行う。 	6ヶ月
2	18	・職員の価値観を押し付け、ご利用者を、「介護される一方的な立場」においやってはいないか。	<ul style="list-style-type: none"> ○本人と共に過ごし支え合う関係 ・暮らしの中で、ご利用者の出来ることを、職員が心に余裕をもって見守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の申し送りの中から、利用者一人一人の価値観を共有する。 ・職員一人一人の自己覚知のための研修を行う。 ・他の職員のやり方を学ぶ。 	12ヶ月
3	19	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケートにて、ご家族面会時に、ゆったりタイムが長いことを指摘されている。 ・アクティビティを取り入れているが、ご家族に十二分に伝わっていないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18番の取り組みを行うことと、同時に、日々のご利用者の過ごし方をもっとご家族に知っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の報告内容をより細かく行う。 	12ヶ月
4	33	・重度化について、話をしているつもりであったが、いざとなると、それぞれの立場で意見の相違がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の意向を反映できる。 ・いざという時、チームで、ご家族の思いに沿える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階で、ご本にの意向を把握しておく。 ・ご家族への知識の伝達を行う。 ・職員の心構えを研修する。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。